



高木 広和 議員

### 介護人材確保対策 について

#### 問 介護人材確保のための方策は

答 介護職員子育て応援助成事業、市外就労者家賃助成事業など5つの助成事業を実施しています。

問 第8期計画における特別養護老人ホームの整備について

答 健康福祉部長

第7期介護保険事業計画では定員を80床増やす計画でしたが、50床分は未整備となっておりそのため第8期計画を策定する介護保険事業計画等作成委員会で、この50床分について協議し、特別養護老人ホームへの入所をお待ちの方が多くおられる状況等を鑑み、計画に位置付けました。

問 特別養護老人ホーム整備における介護職の必要数は。

答 健康福祉部長

50人定員の特別養護老人ホームの場合、介護職員または看護職員は1日あたり18人が必要となりますが、夜勤や交代勤務等を考慮しますと、実際には、30人程度を確保する必要があると思われる。

問 介護事業所の介護職の充足状況は。

答 健康福祉部長

市内の介護サービス事業所を対象に、昨年8月に実施した

「介護人材に関する実態調査」では、市内全体で介護職の不足が42人との回答でした。

問 現在の市内の特別養護老人ホームの待機者数は。

答 健康福祉部長

令和3年1月現在の待機者数は232名で、そのうち159名が市内の方です。

問 今後の待機者数はどう推移すると考えているか。

答 健康福祉部長

市の要介護者数は増加傾向にあり、今後、一人暮らしの

高齢者が増えることが予想されることから、待機者数が大きく減少するとは考えておりません。

問 高島市人材確保対策事業助成金について。

答 健康福祉部長

令和元年度の実績では、介護職員子育て応援助成事業が18件、市外就労者家賃助成事業が7件、外国人介護職員就業助成事業が6件となっており、介護職員初任者研修受講助成事業および奨学金返還助成事業については、実績がございませんでした。

